

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	春日部市立第3保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	新宅 美香	定員(利用人数)：	105 名
所在地：	〒344-0011 埼玉県春日部市粕壁6823番地		TEL 048-752-0736

③評価実施期間

令和元年12月27日(契約日)～令和2年3月25日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

★職員一人ひとりの育成のため、成長できる場を整えています

当保育所では、所長と職員一人ひとりとの面談を通して目標設定をしています。その個人の目標に沿って、保育所内の各担当に振り分けたり、研修への参加を促しています。例えば、保育所内の安全管理マニュアルの読み合わせの際には、安全管理を目標に掲げた職員に講師を任せたり、安全管理に関する外部研修へ該当職員の参加を促しました。さらに役割分担をするだけでなく、経験の浅い職員等には個別に課題を出し、進捗確認とアドバイスをする機会を設けています。これらの取り組みから、今回の職員アンケートでは、「福祉サービスの質の向上に意欲を持ち、管理者は指導力を発揮しているか」という間に「はい」が83.3%という結果になりました。職員一人ひとりが前向きに働ける環境を整えることで、高い職員満足度に繋がっています。

★新たな地域との交流を行い、保育所の周知と地域との関わりを強化しています

当保育所では、所長・上席を中心に地域との関わりを積極的に行っています。例えば、自治会の防災訓練があると聞くと、積極的に参加して地域との関係性を築くきっかけを作りました。その結果、後日、地域の敬老会に5歳児クラスが参加したり、逆に保育所の行事に地域の方々が参加していただくことになりました。避難訓練の際は近隣の公民館や県立高校に声をかけ、垂直避難の訓練(高い階への避難訓練)時に使用するなど、今まで関わりのなかった地域資源との結びつきも作ることが出来ました。地域との関係性を深めています。公立保育所では職員の入れ替わりが発生します。所長・上席が代わっても、この取り組みを保育所として継続し続けていけるように、仕組み化していくことが望まれます。

★サーキット活動を実施し、身体を育んでいます。

当保育所の取り組みの一つとしてサーキット活動に取り組んでいます。本調査年で4年目の取り組みになります。園舎のホールを増設したことより、常時サーキットを設置できるようにしました。各年齢の身体機能の成長を考慮し、身体機能に見合った内容を組み合わせ、子ども一人ひとりが身体を動かして楽しめるようにしています。0歳児は滑り台やトンネルで遊び、姿勢の保持や友達との関わりや増進に繋がりました。5歳児クラスでは、サーキットの運動だけでなく、季節に合わせてサーキットの飾り付けも担当しました。これらの活動に加えて2019年度は、スローガンとして「心と身体を育むサーキット」を掲げました。サーキットの発表会の際には、どの種目に取り組むか子どもに選んでもらうようにしました。苦手な種目に挑戦する子がいる一方で、各種目万遍なく取り組む子、得意な種目を何度も取り組む子もいました。一人ひとりの関心や意欲を尊重した活動は、ご家族にとっても好評でした。子どもの関心に即した運動に取り組めるよう、職員は支援しています。

◇特にコメントを要する点

★事業環境を捉えた保育を実施するため、市との連携、意見交換を活性化させることが期待されます

当保育所では普段、3歳以上児は混合保育(3歳と4歳、4歳と5歳の2クラス)を実施しています。異年齢が一緒に過ごすことで、一緒に遊ぶ楽しさを経験しながら優しい心を育てています。一方で、年齢別保育も月に2回実施しています。年齢別保育を定期的にも実施出来ていることで、父母会でも常時年齢別保育の実施を望む声が散見されました。今後は市との連携を強くし、混合保育についての理解の共有、または周知を行うことが望まれます。地域のニーズに合った取り組みに変えていけるよう、春日部市保育所の所長会議を中心にして、市との意見交換を活性化させ、取り組みに繋げていくことが期待されます。

★一斉保育から、子どもの主体性を尊重した年齢別保育への展開に期待します

一般的に子どもの養護と教育は、各年齢の成長に沿って行われることが求められています。当保育所では、クラス別で子どもの成長を支援していますが、どのクラスも保育内容と環境整備は職員主導のものになっています。また、年間指導計画においては年齢別保育、特に4歳児についての記載が弱く、クラスの保育計画との関連性が強くありませんでした。幼児期の1年間の成長の差は著しい時期になるため、4歳児に即した保育内容と環境を整えることが望まれます。

★キャリアパスを構築し、成長を継続的なものにしていくことが期待されます

当保育所では、所長が職員一人ひとりに対して面談を行い、一緒に目標設定をしています。その目標に向かって業務や役割を分担し、成長出来る環境を整えています。しかし異動がある公立保育所であるため、当保育所にいるのは数年に限られています。異動があっても職員の成長を継続的にするため、春日部市公立園全体でこの取り組みを行えるようにしていくことが望まれます。今後は市とも協議の上、保育士の育成の全体像、キャリアパスを提示し、進捗状況を確認していくことが期待されます。春日部市の保育士として自分がどの位置にいるのか、ステップアップするには何を身につける必要があるのかを確認し、取り組むことが出来るようになります。異動がある公立保育所でも、春日部市の保育士として成長し続けられる環境整備が望まれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

3歳以上児の保育については、混合保育の良さを見出しながら、年齢別の活動にも力を注いできました。また、保育所保育指針の改定に伴い、子どもの主体性について、研修を重ねながら、少しずつ改善してきました。今回の評価を受け、どちらの内容に関しても、更なる改善の必要性を感じました。保育の振り返りを日々行ってきましたが、改めて職員一人ひとりが、保育理念と向き合い、改善策を提案し始めることが出来ています。キャリアパスと合わせて検討をくり返し、保育士の質の向上に努めていきたいと考えます。良い機会を与えていただきありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり